

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	下水道の更新による安全・安心、快適な暮らしの実現							
計画の期間	平成22年度 ～ 平成24年度 (3年間)	交付対象	大潟村					
計画の目標	老朽化した下水道施設を計画的に更新するとともに、下水道施設の再構築を行い安全・安心、快適な暮らしの実現を図る							
計画の成果目標(定量的指標)	①老朽化により陥没や雨水の侵入等の恐れのある人孔蓋の改修率を79% (H22) から100% (H24) に増加させる ②耐用年数を経過し老朽化したポンプ場設備の改修率を0% (H22) から100% (H24) に増加させる							
定量的指標の定義及び算定式	①老朽化した人孔蓋の改修率 更新する人孔蓋箇所数 / 更新が必要な人孔蓋箇所数		②耐用年数を経過したポンプ場施設改修率 更新する電気・機械施設数 / 更新が必要な電気・機械施設数					
定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)					
備考	79%	100%	100%					
備考	0%	0%	100%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	238百万円 197.42百万円	A	238百万円 197.42百万円	B	C	効果促進事業費の割合	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	計画期間終了後(平成28年6月)
大潟村産業建設課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	公表の方法
	大潟村のホームページにて掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H22	H23	H24	H25	H26				
A1-1	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	汚水	改築	人孔蓋改修	人孔蓋改修 N=76箇所	大潟村						10.00 11.10	
A1-2	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	汚水	新設	施設計画の見直し	効果的整備計画策定	大潟村						3.00 1.04	
A1-3	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	ポンプ場	改築	設計(ポンプ場)	ポンプ場改築実施設計	大潟村						9.00 13.26	
A1-4	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	ポンプ場	改築	ポンプ場改築	ポンプ本体、電気設備、自家発電設備	大潟村						149.00 121.90	
A1-5	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	汚水	新設	設計(管渠新設)	管渠実施設計 L=1,044m 管渠実施設計 L=1,081m	大潟村						4.00 0.00	
A1-6	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	汚水	新設	管渠新設	管渠実施設計 L=1,044m 管渠実施設計 L=1,081m	大潟村						51.00 48.12	
A1-7	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	汚水	改築	設計(マンホールポンプ)	マンホールポンプ改築実施設計	大潟村						2.00 0.00	
A1-8	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	汚水	改築	マンホールポンプ改築	ポンプ本体、電気設備、自家発電設備等	大潟村						10.00 2.00	
合計											238.00 197.42						

B 関連社会資本整備事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した人孔蓋の改修率が事業開始前には79%だったが、100%となった。</li> <li>・汚水中継ポンプ場のポンプ本体、電気設備、自家発電設備を更新し、改修率が0%から100%となった。</li> </ul>		
II 定量的指標の達成状況	指標①老朽化した人孔蓋の改修率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100.0%	
	指標②耐用年数が経過したポンプ場施設改修率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100.0%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項 (今後の方針等)				